

日本を代表するバロックの老舗楽団 **日本テレマン協会**が贈る  
古楽界の巨匠 延原武春プロデュース

# 18世紀貴族の晩餐会

日本初の「食べ  
ながら聴ける」  
本格コンサート!



## 【公演日程】

11月6日、13日、20日、27日（金曜日）  
12月4日、11日、18日、25日（金曜日）

## 【時間】

18時開演（受付 / 17時30分開始）

## 【会場】

ニューオーサカホテル心齋橋「グロッタ」  
サロン de メランテ

## 【ご優待入場料】

各 10,000 円（税込）※飲物は別途有料

## 【主催】

日本テレマン協会・倶楽部メランテ

## 【演目・出演者】

～テレマン当時のレシピを再現したディナーと共に～

11月6日 G.Ph. テレマン：「食卓の音楽」第1巻

11月13日 G.Ph. テレマン：「食卓の音楽」第2巻

11月20日 G.Ph. テレマン：「食卓の音楽」第3巻

指揮・お話：延原武春 テレマン・アンサンブル

11月27日 「バッハとヴィヴァルディの世界」

お話：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ほか

12月4日 「懐かしのナポリ」（カンツォーネ）

12月11日 「ベートーヴェン生誕250周年&サリエリ」

12月18日 「モーツァルトの饗宴」

12月25日 「スタンダードJAZZ」（クリスマス）



イメージです



## 【指揮者 延原武春コメント】

そもそも18世紀のヨーロッパの音楽は貴族たちの楽しみとしての要素が多分にありました。日本テレマン協会の名前になっているテレマン氏は、大阪市の姉妹都市でもあるハンブルクで四十数年活躍しました。彼は18世紀に最も人気のあった作曲家で、代表作品「食卓の音楽」全3巻は当時のヨーロッパのヒットナンバーでした。今回はニューオーサカホテル心齋橋でその当時のディナーメニューを再現し、お食事を召しあがっていただきながらこの「食卓の音楽」をお聴きいただくという、当時の「貴族の楽しみ」を味わっていただきます。「食卓の音楽」というタイトルで

「食卓の音楽」というタイトルで



イメージです

## 【日本テレマン協会とは】

延原武春によって創設されたバロックからベートーヴェンまでを専門とする室内楽団です。設立は1963年。当時大阪音楽大学の学生だった延原武春が「バロック音楽の普及・啓蒙」と「楽しさ」をテーマに、新しい演奏会の可能性を追求すべく「テレマン・アンサンブル」を結成したのがその始まりです。「定期演奏会」、「マンスリーコンサート」、「教会音楽シリーズ」などを軸とし、関西を中心に全国的な活動を展開。1977年「文化庁芸術祭優秀賞」、1986年「第17回サントリー音楽賞」を関西の団体としては初めて受賞しました。2008年にはベートーヴェンの交響曲全曲をクラシカル楽器にて公演。これが引き金となって延原は2009年ドイツ連邦共和国より功労勲章を受章しました。以後延原は日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団などを指揮し好評を博したことは皆さんにとっても記憶に新しいことと思います。2019年には創設当時の演奏会プロデュース活動によるクラシック音楽普及に対する功績が認められ、ベストプロデュース賞を受賞しました。

## 【お申し込み】

ニューオーサカホテル心齋橋 倶楽部メランテ

大阪市中央区心齋橋 1-10-36 アクセス：大阪メトロ御堂筋線「心齋橋駅」徒歩2分

## 【お問い合わせ】

TEL (06) 6121-5557 (10:00～19:00)

※表示価格は消費税を含む金額です。

